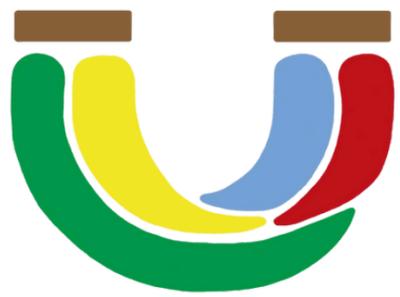


はじめに

放課後等デイサービスにおける支援は、障がいのある子どもたちが安心して成長し、将来的に社会の一員として自立した生活を送ることを目指しています。当社支援プログラムでは、「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の5つの領域にわたる支援を軸に、子どもたちの発達を多面的に支援します。

また、子どもが家庭や地域社会の中で充実した生活を送るためには、家族支援や移行支援、地域支援が不可欠です。子どもを取り巻く環境全体を整え、家庭や地域との連携を深めることで、一人ひとりの成長をより効果的に支援することができます。

本プログラム内容は、放課後等デイサービスを利用する子どもたちが、日々の生活の中でより豊かな体験を積み重ねられるよう、また、家庭や地域社会と連携しながら、子どもたちの可能性を最大限に引き出すことを目的としています。



放課後等デイサービス

HAMMOCK

放課後等デイサービス

ADVANCE

包括的支援

3分野



放課後等デイサービス支援提供留意事項

こども一人ひとりに寄り添った支援の実施

- こどもの状況や家庭・地域社会での生活を適切にアセスメントし、こどもや保護者のニーズを分析した上で、安心感や信頼感を持てる支援を行う。
- こどもの発達や障害の特性、個人差を理解し、生活リズムや健康、安全を重視した環境を整備する。



放課後等デイサービス支援提供留意事項

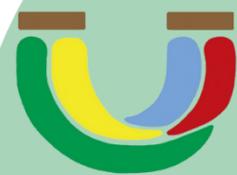
主体性と社会性を育む活動の促進

- こどもの自発的で意欲的な活動を引き出す環境を提供し、自己選択や自己決定の機会を作る。
- 集団活動や遊びを通じて、相互関係や社会的な行動力を養い、他者との信頼関係を形成する支援を行う。

放課後等デイサービス支援提供留意事項

包括的な支援体制と地域連携の推進

- 多職種チームによる総合的な支援を行い、将来の生活に向けた準備をサポートする。
- 保護者や地域社会と連携し、家庭や地域とのつながりを意識したインクルーシブな支援を進める。



放課後等デイサービス

HAMMOCK

放課後等デイサービス

ADVANCE



本人支援

共通

《5領域プログラム》

1. 健康・生活

心身の健康や生活スキルに関する領域

- 健康状態の維持・改善
- 生活のリズムや生活習慣の形成
- 基本的な生活スキルの獲得

2. 運動・感覚

運動や感覚に関する領域

- 姿勢と運動・動作の向上
- 姿勢と運動・動作の補助的手段の活用
- 保有する感覚の総合的な活用

3. 認知・行動

行動と認知に関する領域

- 認知の発達と行動の理解と習得
- 空間・時間、数等の概念形成の習得
- 行動障害の予防と対応

4. 言語・コミュニケーション

言語・コミュニケーションに関する領域

- コミュニケーションの基礎的能力の向上
- 言語の形成と活用
- 言語の受容及び表出の習得

5. 人間関係・社会性

人との関わりに関する領域

- アタッチメント（愛着）の形成と情緒の安定
- 自己理解と行動調整
- 他者との良好な関係構築と社会性の発達形成

健康
・
生活

人間関係
・
社会性

運動
・
感覚

言語
・
コミュニケーション

認知
・
行動

心身の健康や生活スキルに関する領域

- ▶ **健康状態の維持・改善**
- ▶ **生活のリズムや生活習慣の形成**
- ▶ **基本的な生活スキルの獲得**

- 健康状態の把握と異変への対応
- リハビリテーションの実施
- 生活習慣や生活リズムの形成
- 基本的な生活スキルの獲得
- 生活マネジメントスキルの育成

運動 ・ 感覚

運動や感覚に関する領域

- ▶ 姿勢と運動・動作の向上
 - ▶ 姿勢と運動・動作の補助的手段の活用
 - ▶ 保有する感覚の総合的な活用
-
- 姿勢保持や筋力強化、補助用具の活用支援
 - 自力での移動能力や社会的場面での指導支援
 - 感覚を活用した情報収集や感覚特性への配慮
 - 補助器具や代行手段の活用による感覚の補完

認知 ・ 行動

行動と認知に関する領域

- ▶ 認知の発達と行動の理解と習得
 - ▶ 空間・時間、数等の概念形成の習得
 - ▶ 行動障害の予防と対応
-
- 感覚を活用した認知発達や情報処理支援
 - 知覚から行動への認知プロセス発達や概念形成
 - 行動障害への予防策と適切な行動への支援

- ▶ コミュニケーションの基礎的能力の向上
 - ▶ 言語の形成と活用
 - ▶ 言語の受容及び表出の習得
-
- 言葉以外の表現手段を含む基礎的コミュニケーション能力の育成
 - 手話や点字、ICT機器を活用した意思伝達支援
 - 人との相互作用を通じたコミュニケーション能力向上
 - 読み書き能力の向上

人との関わりに関する領域

- ▶ **アタッチメント（愛着）の形成と情緒の安定**
- ▶ **自己理解と行動調整**
- ▶ **他者との良好な関係構築と社会性の発達形成**

- 安心感を育む環境提供と「安心の基地」役割の支援
- 模倣遊びや協同遊びを通じた社会性の発達支援
- 自己理解を深め、行動調整や自己肯定感を育む機会提供
- 集団活動への参加や相互理解を促進する支援

《ハンモック5領域支援プログラム》

事業所基本情報

事業所名：放課後等デイサービスハンモック

事業所理念：ゆっくりのんびり、落ち着いた環境を

営業時間：①月曜～金曜(下記を除く)

9:30～18:30

②土、国民の祝日及び夏休み等の長期休暇

8:00～17:00

送迎：別府市全域（まずはご相談ください）

1. 健康・生活

心身の健康や生活スキルに関する領域

バイタルチェック

来所持の体温測定。手洗い、うがい、手指消毒の指導

リハビリテーションの実施

筋力維持のためOTスタッフと下肢・上肢のストレッチ、室内外の歩行訓練

生活リズムの形成

排泄タイミングが掴みにくい児に対して時間を区切って確認出来るような支援の実施

支援方針：車いすの子や医療的ケアが必要な子、難病の子などが、のびのびと楽しみながら過ごせるように支援する

職員の質の向上の取組：感覚統合・応用行動分析・SST等研修の定期的な実施

主な行事等：うみたまごレク・ハロウィン・クリスマス会等

5. 人間関係・社会性

人との関わりに関する領域

ひとり遊びから協同遊びへの支援

マインクラフトなどを活用し、同じ時間同じ場所で他者と一緒にルールを守りながらあそぶ

自己理解と行動コントロール

自分の得意不得意を理解するため、フィードバックを都度おこない、次につなげる

集団への参加支援

最初はスタッフが介入しながら複数人でおこなうゲームなどに誘い、楽しみながら集団活動に促す

2. 運動・感覚

運動や感覚に関する領域

姿勢保持と動作改善

上下肢のストレッチや可動域の調整。バランスボールを使用して姿勢や動作についてはトレーニング

感覚の活用支援

スライム遊びや折り紙をスタッフと一緒に折るなどの活動で視覚や触覚などの感覚を活用する

感覚特性への対応

作業工程で感覚刺激が強すぎたり弱すぎたりすることがないように環境調整をおこなう

4. 言語・コミュニケーション

言語・コミュニケーションに関する領域

言語の形成と活用

状況カード(「喜んでいる人」「悲しい気持ちの人」など)を使い、ロールプレイをおこなう

受容言語と表出言語の支援

自分の思いを伝えられる場所が増えるよう、子どもの話を聞きながら周囲に伝わる言葉に変換する

コミュニケーション手段およびICT機器の活用

コミュニケーションツールとしてボード/カードゲーム、マインクラフトなどを活用する

3. 認知・行動

行動と認知に関する領域

感覚や認知の活用

同じ数字やイラスト単語探しなど、イラストカードを用いて感覚的に認知しやすい活動をおこなう

認知の特性理解と支援

視覚優位の児に対してイラストカードや文字カードで伝えたり、時計模型を使って視覚支援をおこなう

認知や行動、数量・大小・色等の習得

おやつに上限を設け金額と数を考えながら選ぶ、マインクラフトなどゲームを活用

《アドバンス5領域支援プログラム》

事業所基本情報

事業所名：放課後等デイサービスアドバンス

事業所理念：イキイキと楽しみながら学べる環境を

営業時間：①月曜～金曜(下記を除く)

9:30～18:30

②土、国民の祝日及び夏休み等の長期休暇

8:00～17:00

送迎：別府市全域（まずはご相談ください）

1. 健康・生活

心身の健康や生活スキルに関する領域

バイタルチェック

手洗い、うがい、手指消毒の指導

役割分担のある活動

会の進行、ピンポーズのお手本

健康増進や体力向上を目的とした粗大運動

ドッチボール・サッカー等

生活スキルの獲得

靴ひもの結び方指導、雑巾がけ、年末大掃除

支援方針：子どもたちの可能性が広がるさまざまな体験を提供し、かつ、それら経験を実生活で活かせるような支援を通じて、子どもたちの想いをカタチにできる支援を行う

職員の質の向上の取組：感覚統合・応用行動分析・SST等研修の定期的な実施

主な行事等：自然体験・体育館レク・クリスマス会等

5. 人間関係・社会性

人との関わりに関する領域

利用児以外の子どもとの交流

公園などの屋外活動など

カードゲームを使用した様々な遊び

他者へ伝達あそびオノマトペゲームなど

ICT機器やゲームを通じて図る他者とのコミュニケーション

マイクラフト、協力プレイアプリなど

役割分担のある活動

会の進行、ピンポーズのお手本

社会活動

買い物や公共交通機関の利用など

2. 運動・感覚

運動や感覚に関する領域

体幹トレーニング

OT指導のピンポーズ(体操)、バランスボールを使用した姿勢保持

感覚遊び

自然体験(川、海、山など)、スライムなどの触覚刺激、公園など

感覚過敏への対応

イヤーマフなどの使用や静養室の確保

集団での活動遊び

ドッチボールや鬼ごっこなど

身体移動能力の向上

公共交通機関を利用した外出

4. 言語・コミュニケーション

言語・コミュニケーションに関する領域

カードゲームを使用した様々な遊び

受容言語と表出言語の理解遊びのカタカナシーヤ

キャットアンドチョコレート、連想ゲームなどの言葉遊びなど

ICT機器やゲームを通じて図る

他者とのコミュニケーション

マイクラフト、協力プレイアプリなど

読み書きのビジョントレーニング

笑ってはいけない音読ゲームやICT機器を活用したコミュニケーションゲームなど

3. 認知・行動

行動と認知に関する領域

カードゲームを使用した様々な遊び

代替え案、自己理解を深める遊び、ワーキングメモリーを養うダブルタスクゲーム

視覚や空間を活用したビジョントレーニング

公園や体育館での活動

公園などで遊ぶ粗大運動

認知や行動、数量/大小/色等の習得

マイクラフトなどゲームを活用

ソーシャルスキルトレーニング

こんなときどうする？正しい道具の使い方など



移行支援
地域支援

The text '移行支援' (Transition Support) and '地域支援' (Local Area Support) is written in a large, white, outlined font. In the background, there is a faint, grey illustration of a person sitting in a wheelchair, smiling.

共通

移行支援・地域支援

目的

- 障害のあるこどもが地域社会において、放課後の学習・体験・活動を享受し、適切な支援を受けながら成長できるようにする。
- こどもが地域の仲間と関わりながら生活できるように支援する。
- 進学・就職などのライフステージの移行時において、一貫性のある丁寧な支援を行う。
- こどもと家族の包括的な支援を提供するため、地域の関係機関と連携し、途切れのない支援体制を構築する。
- こどもの育ちや家庭の生活を支えるため、保健・医療・福祉・教育・労働などの各機関と連携を図る。
- こどもが地域社会で適切な支援を受け、居場所を持てるようにする。

移行支援・地域支援

ねらい

1. 放課後児童クラブ等への移行支援、ライフステージの切り替え準備。
2. 併行利用先（放課後児童クラブ等）との連携。
3. 同年代のこどもをはじめとした地域における仲間づくり。
4. こどもに関わる地域の関係者・関係機関と連携した支援の推進。

移行支援 ・ 地域支援

支援内容

① 放課後児童クラブ等への移行支援、ライフステージの切替え準備

- こどもの発達評価と支援計画の作成。
- 具体的な移行先との調整と情報共有（支援方針、こどもの特性、保護者の意向など）。
- 保護者への情報提供や移行先の見学調整。
- 移行先の受け入れ体制の整備や相談援助。
- 進路や移行先の選択に関する相談支援。

② 併行利用先（放課後児童クラブ等）との連携

- こどもの特性や支援内容の共有（得意不得意、声掛けのタイミング、コミュニケーション手段など）。
- 併行利用の際の利用日数・利用時間の調整。

③ 地域における仲間づくり

- 地域の学校、放課後児童クラブ、児童館、地域住民との交流を促進。
- こどもが社会的なつながりを持てるよう支援。

移行支援 ・ 地域支援

支援内容

こどもに関わる関係者・関係機関との連携

- **学校や放課後児童クラブとの情報連携**
 - こどもの支援方法や環境調整に関する相談。
 - 放課後等デイサービス計画の作成・見直しのための会議開催。
- **医療・福祉機関との情報共有・調整**
 - こどもを担当する保健師や医療機関との連携。
 - 発達障害者支援センター、医療的ケア児支援センター、地域生活支援拠点との情報共有。
- **福祉サービスとの連携**
 - 障害児相談支援事業所や障害福祉サービス事業所、他の障害児通所支援事業所と連携し、生活支援や発達支援を行う。
- **虐待が疑われる場合の対応**
 - 児童相談所やこども家庭センターとの情報共有。
- **地域の関係者との協力**
 - 児童委員、主任児童委員、地域住民と連携し、こどもや家族の支援を充実させる。
- **個別ケース検討会議の開催**
 - こどもごとの支援内容を検討するための会議を定期的実施。

移行支援・地域支援

支援の際の配慮事項

- **地域の支援ネットワークの構築が必要**

地域の様々な場面でこどもが適切な支援を受け、居場所を持てるよう、普段から関係機関と連携を深めておく。

- **ライフステージに応じた切れ目のない支援が重要**

こどもが進学・就職などの移行時期において、スムーズな環境適応ができるよう支援する。

- **関係者との横断的な連携の推進**

縦（成長に伴う支援）と横（関係者間の連携）の両面から支援を強化することが求められる。



共通

The image is a circular icon with a pink background. It contains the text '共通' (Common) in large, bold, white characters with a black outline.

家族支援

目的

- 障害のあるこどもを育てる家族が安心して子育てできるように、信頼関係を築きながら丁寧な支援を行うことが重要。
- こどもは家庭環境や親子関係から大きな影響を受けるため、家庭の安定がこどもの成長や生活の充実につながる。
- 特に、学齢期に診断を受けた場合や、成長に伴う発達ニーズの変化時には、保護者がこどもを肯定的に受け入れられるよう支える。
- 二次障害やメンタルヘルスの課題を防ぐために、自尊感情や自己効力感を育む支援が必要。

家族支援

ねらい

1. アタッチメント（愛着）の安定

こどもが家族との安定した関係を築き、感情面の安心感を得られるよう支援する。

2. 家族の相談に対する適切な助言・支援

家族が抱える困りごとに寄り添い、子育てに関する具体的な助言や支援を提供する。

3. 障害特性に配慮した家庭環境の整備

こどもの特性に応じた環境調整や、家族が適切に対応できるよう支援する。

家族支援

支援内容

① アタッチメント（愛着）の安定

- こどもが安心して家庭で過ごせるよう、感情や不安に寄り添い、信頼関係を築く支援。
- 家族や周囲との安定した関係が継続できるようサポート。

② 家族の相談に対する適切な助言・支援

- 子育て相談援助: 保護者の悩みや困難に寄り添い、適切なアドバイスを提供。
- 発達ニーズへの気づきを促す支援: こどもの成長に伴う変化に対し、適切な対応ができるよう助言。
- 具体的な介助方法の指導: 食事や生活習慣の支え方など、実践的なアドバイスを提供。
- レスパイトケアと預かり支援: 家族の負担を軽減するため、預かりや延長支援を行う。
- 心理的カウンセリング: 保護者の精神的負担を軽減するための専門的な支援を提供。
- 保護者同士の交流機会の提供: 同じ境遇の家族同士が情報交換や相談ができる場を設ける。
- きょうだい支援: きょうだい同士の交流機会を提供し、障害のある兄弟姉妹を持つ子どもの気持ちにも配慮。

③ 障害特性に配慮した家庭環境の整備

- 保護者向けの講座・ペアレント・トレーニングの実施: 障害特性や発達段階に応じた適切な対応方法を学ぶ機会を提供。
- 家族が学びながら支援できる機会の提供: 実際の支援の場面で学びながら、家庭での適切な対応方法を身につける。

家族支援

支援の際の配慮事項

- **学齢期の特性を考慮**

行動面の課題、メンタルヘルス、不登校などの問題が増える時期であり、保護者の葛藤が大きくなるため、包括的な支援が必要。

- **家族の孤立を防ぐ**

相談相手がいない家庭には、つながりを作る支援を提供。

- **保護者の精神的負担の軽減**

親の不安やストレスを軽減し、こどもとの関係が良好になるようサポートする。

おわりに

当社放課後等デイサービスは、こどもたちにとって「もうひとつの居場所」となり、安心して過ごせる環境を提供する役割を担っています。本プログラム内容に基づく支援を通じて、こどもたちは自立に向けた生活スキルを身につけ、社会とのつながりを築くことができます。

また、家族支援を通じて保護者の負担を軽減し、移行支援や地域支援によって、こどもたちがライフステージの変化に適応できるようサポートすることが求められます。支援にあたるすべての関係者が協力し、一貫した支援を提供することで、こどもたちの成長をより力強く支えることができます。

こどもたちが地域の中で主体的に生きる力を育むために、これからも支援の質を高め、より良い環境を整えていくことが重要です。本プログラム内容は、その思いの支援を形にして提供するために作成されたものです。